

# 「阿波ふうど情報」 (vol.38)

発行：とくしまブランド推進機構

連絡先：電話 088-624-7362 / ファックス 088-624-8751

住所：徳島市北佐古1番町5-12 JA会館8階

http://www.tokushima-kousha.jp/brand/



## 「生産振興対策」情報

前回(昨年12月)に続き、ほうれんそう調整機が実演されました。

徳島県のほうれんそう栽培はピーク時に一千haを越す栽培面積がありましたが、生産者の高齢化や出荷調整作業の負担、気象災害の発生などによって栽培面積が減少しています。

そこで、出荷調整作業(下葉取り、根切り)の軽減を図り、面積の維持拡大に繋げるため「ほうれんそう栽培省力機械化検討会」が開催されました。

前回(昨年12月)には、ほうれんそう調整機「株っこクリーナー」の実演が行われました。

今回は、農研機構と(株)クボタが「株っこクリーナー」をベースに、「作業スピード」や「作業精度」を改善した、発売前の「新型ほうれんそう調整機」が持ち込まれました。

説明会では、(株)クボタの開発担当者の方から

- ・「作業スピード能率」:最大1,800株/時(2人作業)  
現行機と比べて150%向上
- ・「下葉取り作業精度」:90%以上、  
現行機と比べ10%向上など、改良点の説明を受けました。

実演会では、県産ほうれんそうを使い調整作業の実演をしました。

今後の予定は、モニターテストと品質評価試験を重ね、早ければ今秋から販売見込みです。



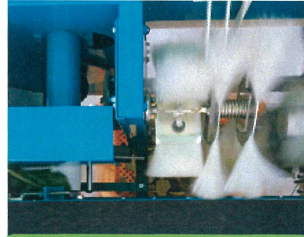
クボタ担当者から説明



熱心に見学する参加者



調整機の作業



調整機の内部構造



左：調整前 → 右：調整後

## ○ほうれんそう新型調整機の性能作業調査(担当:徳島農業支援センター)

性能作業調査では、冬どり栽培で特徴的な株の張った「広葉系ほうれんそう」と、トンネル被覆をした「立葉系ほうれんそう」を使って、作業精度やスピードを確認しました。

「広葉系ほうれんそう」は、送り込み作業に手間取り、下葉取り精度に課題を残しましたが、「立葉系ほうれんそう」は、下葉取り精度も問題なく、参加者も納得できる状態でした。

## ○ほうれんそう栽培省力機械化検討会アンケート(担当:JA全農とくしま営農開発課)

アンケートでは、「実演機の評価」や、「今後の普及性」を参加者に聞き取ったところ、

- ・「非常に役立つ」「役立つ」の回答が95%
- ・「是非導入すべき」「導入を検討」の回答が74% との回答が得られました。

今回実演した「新型調整機」の評価が高いことから、徳島県内で[モニターテスト]が実施出来るよう関係者と連携して取組み、引き続き「ほうれんそう産地」の活性化に繋げて参ります。

## 「とくしまブランド推進機構」

愛称：地域商社 阿波ふうど

☆阿波ふうど

「AWA FOOD」とは？

「阿波(徳島)の風土に育まれた幸をもたらす」ということを表現



「とくしまブランド推進機構」は、「農家所得の向上」と「農業生産の拡大」を目的に、マーケットイン型の生産・流通・販売を総合的に推進するため、徳島県・県農業開発公社・JA徳島中央会・JA全農とくしまの4者が創設した組織です。